

2022年 春の花粉予想!

スギ花粉前線とスギ花粉飛散量

監修:気象環境サービス 気象環境研究所 村山 貢司



2022年春のスギ花粉は例年並みかやや早く飛散開始になるでしょう。

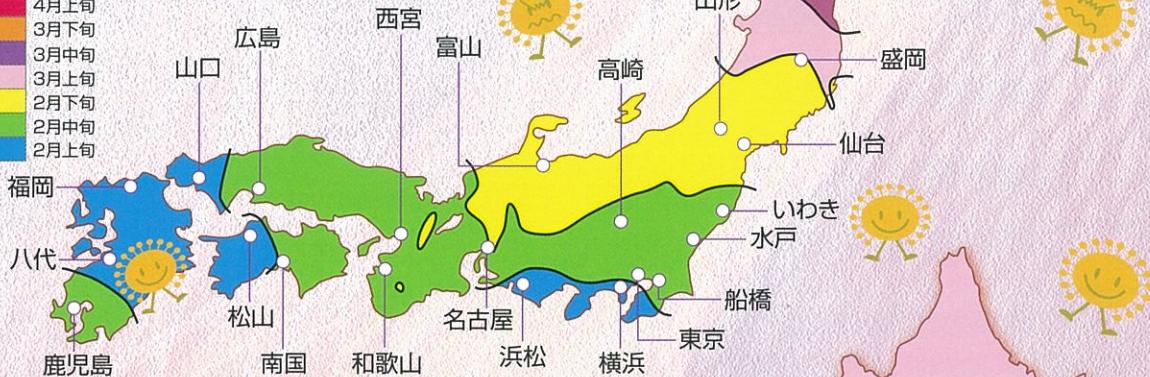
2022年春の花粉数は2021年春より多くなる見込みですが、21年春に比較的花粉の多かった近畿から九州の一部はやや少ないでしょう。過去10年の平均花粉数と比較すると、ほぼ同じかやや多くなる見込みです。

スギやヒノキの花粉数は前年の6月から7月の日照時間と前年の花粉数に大きな影響を受けます。2021年の6月は日照時間が平年よりやや多く、7月はほぼ全国的に多くなりました。特に関東から東海にかけては前年の7月よりも日照時間が100時間前後多くなっています。また、21年春の花粉数が平均より少ない地域が多かったこともあり、3年ぶりに平均を超える花粉数が予想されました。

花粉数が多い年の飛散は、飛散開始から数日で花粉数が一気に多くなるため、治療や予防を例年より早めに行なうことが重要です。花粉症は1日の花粉数が30個を越えるころから症状が悪化し、患者数が急増します。花粉総数が4000個の場合、1日30個以上の日が30日前後にもなります。また、ヒノキ花粉も21年春より多くなるため、花粉の飛散期間が長くなるでしょう。



(2021年10月現在の予想)



前年比



前年値と比較して判定
青森県、長野県、島根県、
香川県、沖縄県はデータなし



スギ花粉症の方は、新聞などの
花粉飛散情報をチェックして
早めの対策を取りましょう



私たちの住んでいる地域の花粉は前年より多い?少ない?

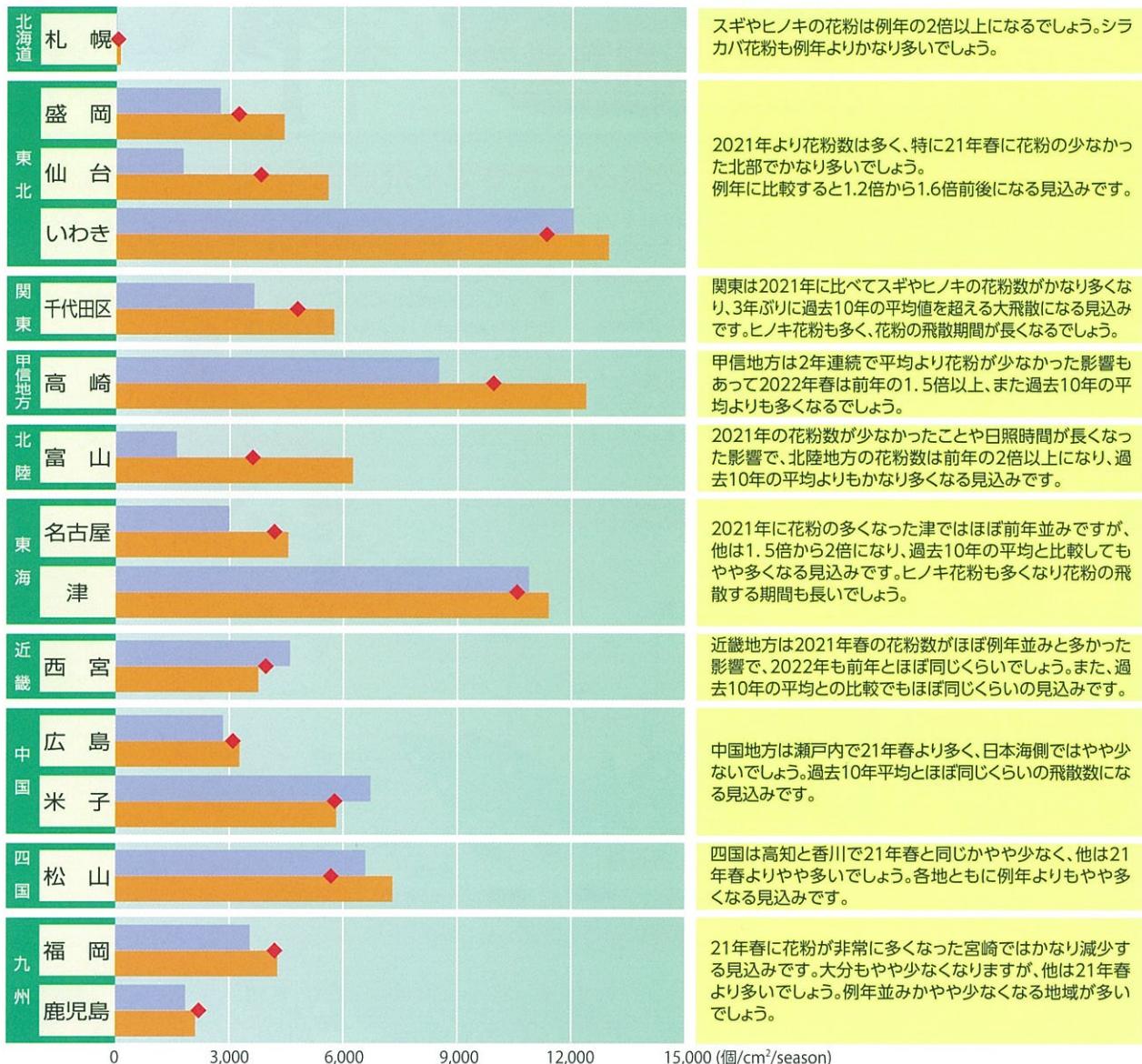
例年(過去10年間の平均)と比べるとどうですか?



A

花粉
2021年
2022年予測
過去10年間の平均値

各地の花粉予想

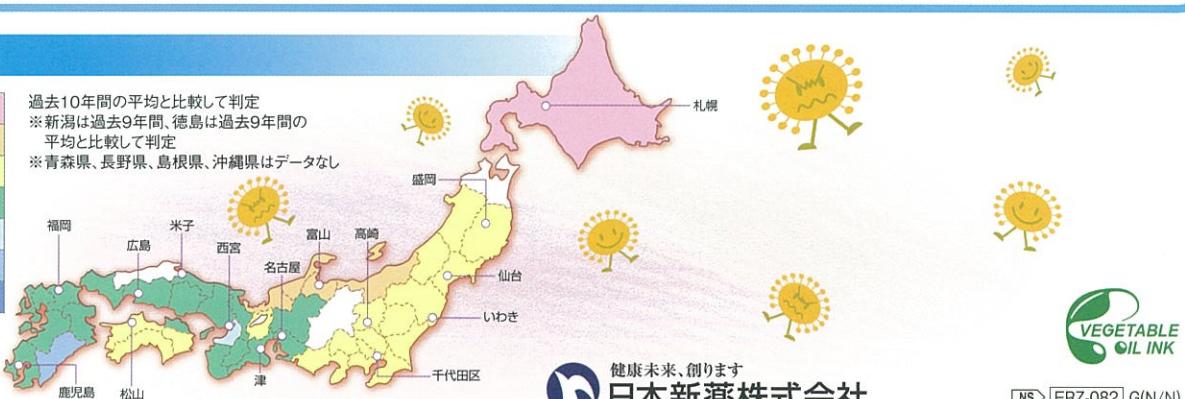
15,000 (個/cm²/season)

気象環境サービス 気象環境研究所 村山貴司 提供 (2021年10月)

例年比



過去10年間の平均と比較して判定
※新潟は過去9年間、徳島は過去9年間の平均と比較して判定
※青森県、長野県、島根県、沖縄県はデータなし



健康未来、創ります
日本新薬株式会社



NS> ERZ-082 G(N/N)